

令和7年度 全国特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会

第62回全国研究協議会 広島大会

(第一次案内)

〈大会主題〉

「共生社会の形成に向けて、一人一人の教育的ニーズに応え、
豊かに生きる力をはぐくむ特別支援教育の推進と充実」

～ 趣 旨 ～

障害等により教育上特別な支援を必要とする児童生徒が、ニーズに応じて支援を受け、豊かに充実した生活を送るためには、共生社会の形成が必要です。その共生社会の実現に向けて、特別支援教育には大きな期待が寄せられています。そのため、各学校における特別支援教育の充実是不可欠であり、校長にリーダーシップ・役割はますます重要となっています。

平成29年3月公示の学習指導要領において、通常の学級における各教科等での指導内容や方法の工夫を行うこと、特別支援学級における、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立と社会参加の一層の推進を図るために、自立活動を取り入れることが規定されました。また、平成30年度から、高等学校における通級による指導が開始されました。さらに、令和3年の9月には、「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が施行されるなど、特別支援教育を取り巻く状況は、留まることなく進歩を続けています。

一方、教育現場では特別支援教育を求める児童生徒の増加への対応、交流及び共同学習の在り方、新体制の進展、教員の養成、教員の専門性の向上、学校間・校種間・関係機関との連携等、特別支援教育の充実・発展には、今なお多くの課題が山積しています。令和4年12月、文部科学省は通常学級に在籍する発達障害のある、特別な教育的支援を必要とする児童生徒についての調査結果をまとめ、公表しました。調査では発達障害の可能性のある児童生徒の割合が、小中学校で8.8%、高等学校で2.2%となり、小中学校では前回（平成12年）の調査と比較して2.3ポイント上昇したことがわかりました。さらに、文部科学省の有識者会議は、令和4年3月31日に「特別支援教育を担う教師の養成の在り方に関する検討会議」（座長：加治佐哲也兵庫教育大学長）の報告を公表し、「原則として教員採用後10年以内に特別支援学級担任や特別支援学校教員を複数年経験する」ことを提言しています。

そこで、全国各地の方々との研究協議や講演等を通して、常に認識を新たにしながら、特別支援学級・通級指導教室設置学校長として、様々な「環境の整備」とそれらに基づく「合理的配慮」を提供する「インクルーシブ教育」の構築に向けた一体的な特別支援教育の推進と充実に努めてまいりたいと考えています。

- 1 期 日 令和7年8月21日（木）・22日（金）
- 2 会 場 広島国際会議場（広島市中区中島町 1-5）
- 3 主 催 全国特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会
広島県特別支援学級・通級指導教室設置校校長会
- 4 後援（予定）

文部科学省 全国連合小学校長会 全日本中学校長会 全国特別支援学校長会
全国特別支援教育推進連盟 全日本特別支援教育研究連盟
全国手をつなぐ育成会連合会 広島県教育委員会 広島市教育委員会

広島県連合小学校長会 広島県公立中学校長会 広島県特別支援教育研究連盟
広島市小学校長会 広島市公立中学校長会

5 日程

【第1日】 8月21日（木）	9:00～11:00	全国副会長研修会
	11:30～12:30	受付
	12:30～13:20	開会行事
	13:20～14:20	行政説明
	14:20～14:40	休憩
	14:40～16:10	記念講演
	16:20～17:10	全国理事研修会/分科会打ち合わせ
	17:20～18:00	全国ブロック会 /顧問参与の会
【第2日】 8月22日（金）	9:00～11:00	研究協議（分科会発表）
	11:00～11:20	移動・休憩
	11:20～11:50	全体講評
	11:50～12:10	閉会行事

※懇談会 8月21日（木） 18:30～ 広島文化学園 HBG ホール
※分科会打ち合わせ会 8月21日（木） 16:20～ 国際会議場ラン

6 記念講演 講師 杉並区立済美養護学校 主任教諭 川上 康則 様
演題 (調整中)

7 研究協議

分科会	分科会テーマ	会場
第1分科会	校内体制を整備し特別支援教育の充実を図る学校経営 実践報告：島根県中学校・広島県小学校	ダリア1
第2分科会	特別支援教育の推進に向け教職員の理解と資質向上を図る学校経営 実践報告：岡山県小学校・広島県中学校	ダリア2
第3分科会	関係機関との連携を推進し特別支援教育の充実を図る学校経営 実践報告：広島県小学校2校	ラン

8 参加申込

申し込み方法等につきましては、二次案内にてお知らせいたします。